



武蔵野市議会議員
深田貴美子

いっぽいっぽ通信

vol. 43

http://www.fukadakimiko.info www.facebook.com/kimiko.fukada

©2021年2月19日 通巻第50号 発行 ©深田貴美子といっぽいっぽの会 〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1-21-2 グローリオ吉祥寺本町706号

隠蔽・不作為・停滞の市政を正す!

「緊急事態宣言」解除されても、コロナが収束した訳ではありません。

1 なぜ隠す?! 武蔵野市は、「ステージ4」! 正しい周知が生命を救う!

緊急事態宣言発出直前の
年末年始以降、
武蔵野市(人口147,463人)は

爆発的な
感染拡大予防が必要
= **ステージ4**

(新規感染者数が1週間で人口
10万人あたり25人以上)でした。

▶武蔵野市内の患者の発生状況(週報) 令和2年12月14日~令和3年2月31日分 ◀

■市内の年代別患者数(週報)

単位:人

期間	合計	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90歳以上
2月8日~2月14日	30	0	1	7	3	4	1	2	4	3	5
2月1日~2月7日	43	3	1	5	5	8	5	7	2	2	5
1月25日~1月31日	56	3	4	9	15	4	6	7	4	3	1
1月18日~1月24日	50	0	3	16	7	5	6	5	3	2	3
1月11日~1月17日	89	4	5	29	18	10	13	6	2	2	0
1月4日~1月10日	99	0	1	36	24	10	12	8	4	4	0
12月28日~令和3年1月3日	46	1	4	18	5	10	5	1	0	2	0
12月21日~12月27日	55	2	4	15	9	7	9	7	0	1	1
12月14日~12月20日	40	2	5	6	9	10	1	1	5	0	1

市民の生命と安全を守るためには、市独自の状況に合わせた対策と、市民のみなさまのご理解とご協力が不可欠です。

市民のみなさまと共に難局を乗り越えるためには、「正しく周知し、正しく対策を施し、正しく恐れる」ことが、自治体の責務です。

<http://www.city.musashino.lg.jp/stopcovid19/kaigi/1028237.html>



(注意) 東京都による公表数値の修正等により、日報と週報の数値が一致しない場合があります。

■市内の性別患者数(週報)

期間	合計	男性	女性
2月8日~2月14日	30	15	15
2月1日~2月7日	43	25	18
1月25日~1月31日	56	25	31
1月18日~1月24日	50	25	25
1月11日~1月17日	89	54	35
1月4日~1月10日	99	62	37
12月28日~令和3年1月3日	46	29	17
12月21日~12月27日	55	28	27
12月14日~12月20日	40	23	17

対策

武蔵野市は、繁華街の現況を把握し、都と連携し、安全対策へと努めるべき

「新型コロナ対策改正特措法」では、罰則過料を含むだけでなく、「まん延防止等重点措置」を施します。都道府県知事が、「市町村単位」の区域を指定することに加えて、「市町村内の一部区画単位の指定可能」です。東京都との連携は必須です。

課題

なぜ、「危機を隠蔽」するのか

厚生委員会(2月3日(水)開催)での、松下玲子市長不規則発言に明らかのように、「現状の危機」を伝えることは、「不安を拡大させること」になると考えておられます。情報を正しく伝え、安全配慮をいただくことが、「生命を守る危機管理の基本」ではないでしょうか。

30年後も安心の武蔵野! 「誰ひとり取り残さずに」を武蔵野市から実現する!



090-8025-4457

ippo-ippo@fukakimi.net

www.fukadakimiko.info

www.facebook.com/kimiko.fukada

https://twitter.com/fukakimi

お気軽にご相談下さい

2 ワクチン接種は、「3会場・週に3日～4日開設」で充分なのか？

厚生委員会(2月3日(水)開催)にて、以下の報告がありました。

- 対象者は、市内住民票記載者(但、記載無くとも市長が必要と認める者)
- 接種希望者は、65%と推定
- 想定ワクチンは「ファイザー」
- 会場は、「南町コミセン(吉祥寺南町)・総合体育館(北町4丁目)・市民会館(境2丁目)」
- 週に「3日～4日」開設を検討
- 「かかりつけ医」での個別接種も検討したい
- 約2ヶ月間の中に、高齢者接種希望者が2回接種を行う
- 会場は「密」を避ける
- 接種後の30分を経過観察



南町コミセン



総合体育館



市民会館

課題

市民の立場に立った「武蔵野方式」を提示せよ。

先行して接種する(3月中旬以降)高齢者の方々、約33,000人の交通至便の会場設営が重要です。また、医師会様協力体制協議と看護師人員確保は最重要課題です。

column

「練馬区モデル」—「かかりつけ医」での接種をメインに。



https://www.city.nerima.tokyo.jp/hokenfukushi/hoken/kansensho/2019-nCoV/vaccination_covid/nerimamodel.files/nerimamodel3.pdf

練馬区モデルとは

- 個別接種と集団接種のベストミックスにより短期間で接種完了
- 診療所での個別接種をメインに、集団接種会場がカバー
- 個別接種会場は、区内約250か所の診療所
- 集団接種会場は、平日常設 6か所の病院、4か所の区立施設、区役所本庁舎、8か所の学校体育館(延96校を巡回開設)
- 土日開設
- 予約は、個別接種は直接診療所へ申込(高齢者インフルエンザワクチン接種と同じなので混乱が少ない)、集団接種は区が受付(インターネット・自動音声受付)

※ 訪問診療受診者および高齢者等高齢者への接種は、11ページを参照

新型コロナウイルスワクチン接種体制 練馬区モデル

【練馬区総人口】 74万人、【高齢者】 16万人、その他一般 58万人(うち65歳未満 9万人)
 【接種率の希望】 約65% (令和高齢者インフルエンザワクチン接種率見込)
 【接種会場】 診療所: 約250カ所、病院: 6病院、区立施設: 5施設、学校体育館: 延96校(巡回開設)
 高齢者: 高齢者センター(2施設×2日)で接種(「かかりつけ医」ワクチン接種会場)

練馬区モデルのコンセプト

早くて 近くて 安心です

早くて 接種まで1か月も待たせない 遠やかに接種できる体制を確保
 近くて 近の診療所で接種可 電車やバスに乗る必要なし 平日にければ土日に
 安心です 通い慣れた「かかりつけ医」が接種するので安心

課題

住民票が無い
市内居住者対策も
検討せよ。

本市は、大学が多い自治体です。学生の多くが武蔵野市に住民票がありません。彼らのワクチン確保と接種は、本市での感染抑制に極めて重要な視点です。大学との連携による学生への接種情報提供を求めました。

東京都

「プレミアム率30%商品券」を
4月実施決定

「原則デジタル・キャッシュレスでのポイント還元に取り組む市区町村」を支援します。昨年、国の「地域未来構想20」を活用し、デジタルによるプレミアム率50%商品券に挑戦した近隣市は、すぐに手を上げることができそうです。3月予算委員会にて、実施を強く要望します。

品名	単価
● 経済活動を支えるギフトチケット	1,000円
○ 新型コロナウイルス感染症に関する医療費支援券	5,000円
○ 新型コロナウイルス感染症発生時医療費軽減措置支援券	5,000円
○ 観光文化振興の応援支援券	4,000円
● 暮らしを支えるギフトチケット	1,000円
○ 東京都生活者支援券(一部の子に発行可)	1,000円

《使用期限 2月20日(土)～3月31日(水)》

3 緊急事態宣言の最中に証文の出し遅れの「暮らし応援券」を、市民一人一人に配布します。

昨年宣言解除後に、「10万円の定額給付金」がお一人お一人に配られました。これに合わせて、他自治体では、困窮した地域経済を応援するために「プレミアム商品券」を実施。地域経済支援の緊急措置的政策ですので、本市での実施を会派で要望していました。ところが、「コロナが収束しないうちに消費を喚起したく無い」との答弁。そもそも「暮らし応援券」の原資6億円は、昨春の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の残金です。

つまり、困窮した事業者のみならずお受け取りいただくべき残金でした。コロナ第三波の緊急事態宣言の中で、国・都の給付対象外の「飲食店以外の業種への給付金・支援金」にするよう求めましたが、松下山長は、市民一人一人に配布することを優先判断とされました。3月7日(日)まで宣言延長となった今、どれだけの経済波及効果が期待できるか疑問です。現市政の「政策形成能力の劣化」が、他の事業にも見えてきています。